

表5 ケーススタディ住宅概要

測定日	空気質: 2005年9月、2007年9月、2008年10月 換気量: 未実施 気密性能: 2005年9月、2007年9月、2008年10月			
所在地	宮城県多賀城市			
住宅形態	木造2階建戸建住宅			
延べ床	109.30m <sup>2</sup>			
竣工年月日	2003年10月			
築年数	4.46年			
換気方式	第1種換気システム			
家族構成	4人: 父親(40才)、母親(39才)、長女(10才)、長男(7才)			
内装仕上げ	測定点			
	1F居間	2F主寝室	2F長女部屋	
床	仕上げ	フローリング	フローリング	フローリング
	下地	-	-	-
壁	仕上げ	ビニールクロス	ビニールクロス	ビニールクロス
	下地	-	-	-
天井	仕上げ	ビニールクロス	ビニールクロス	ビニールクロス
	下地	-	-	-

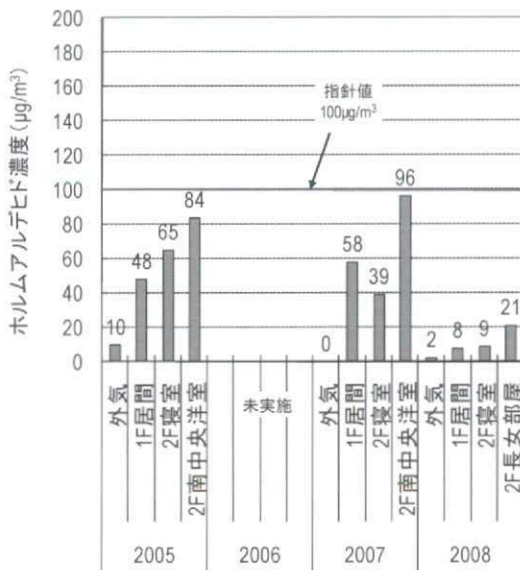


図1 ホルムアルデヒド濃度の経年変化

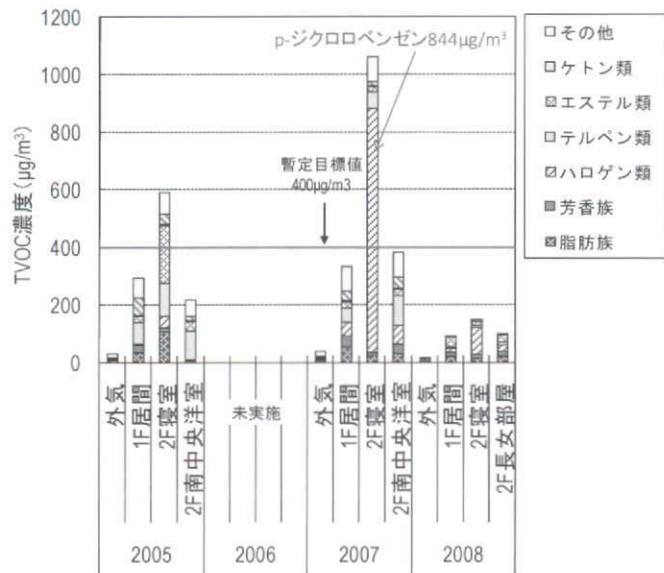


図2 VOC濃度の経年変化

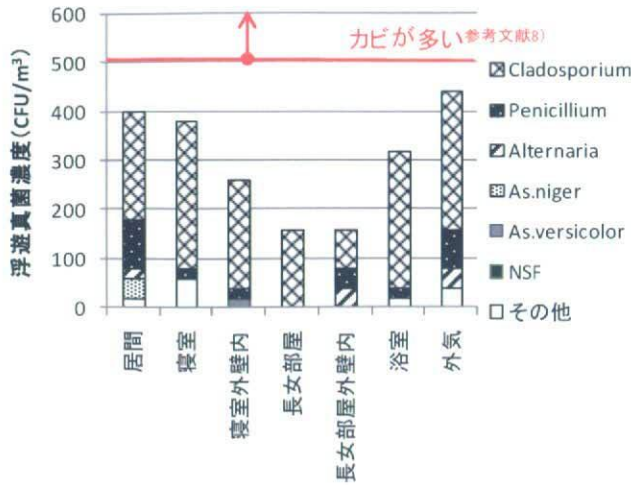


図3 浮遊真菌濃度測定結果



図4 換気システムの風量測定結果

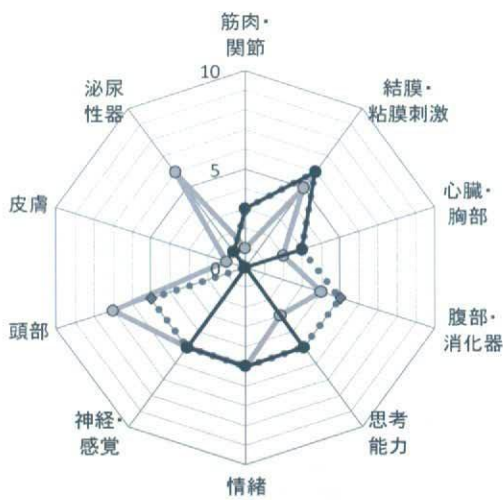


図5 症状の経年変化 (母親)

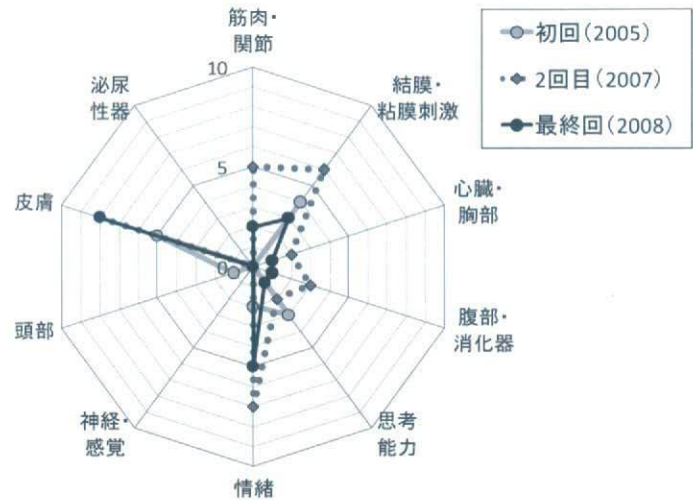


図6 症状の経年変化 (長女)

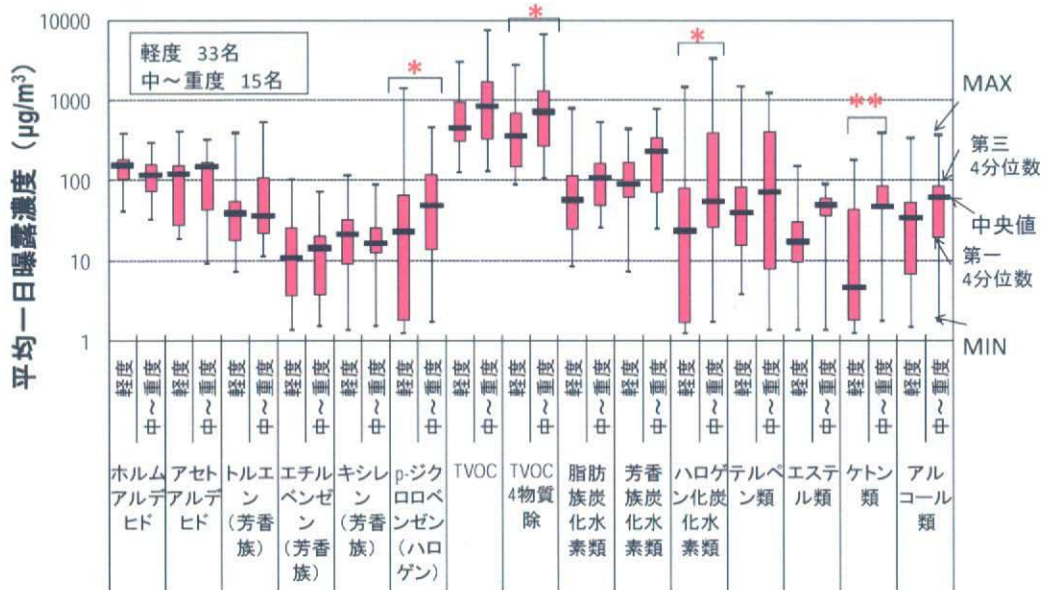


図7 低年齢群における化学物質濃度と症状程度の関係

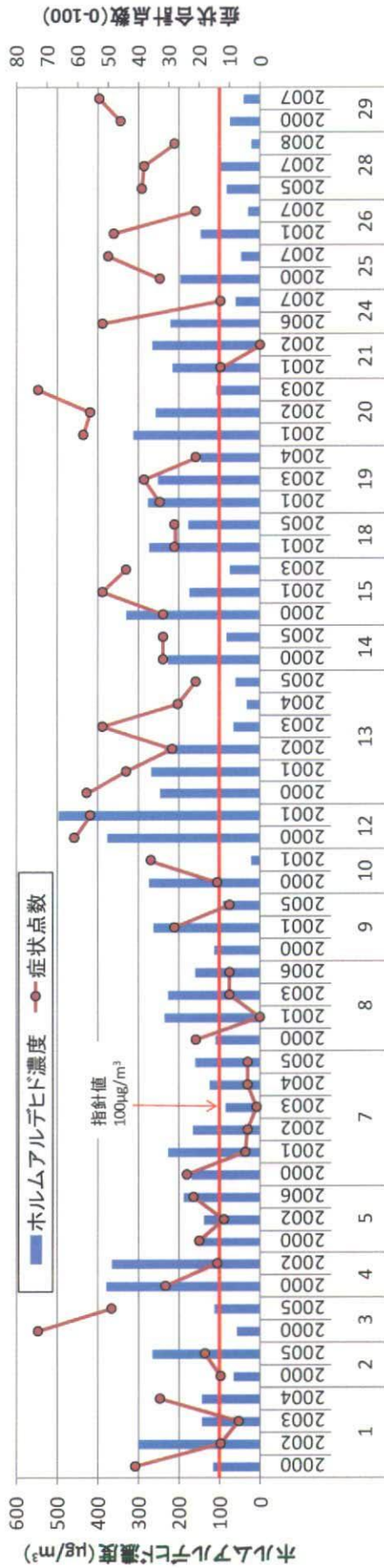


図8 シックハウス22軒におけるホルムアルデヒド濃度と症状程度の経年変化

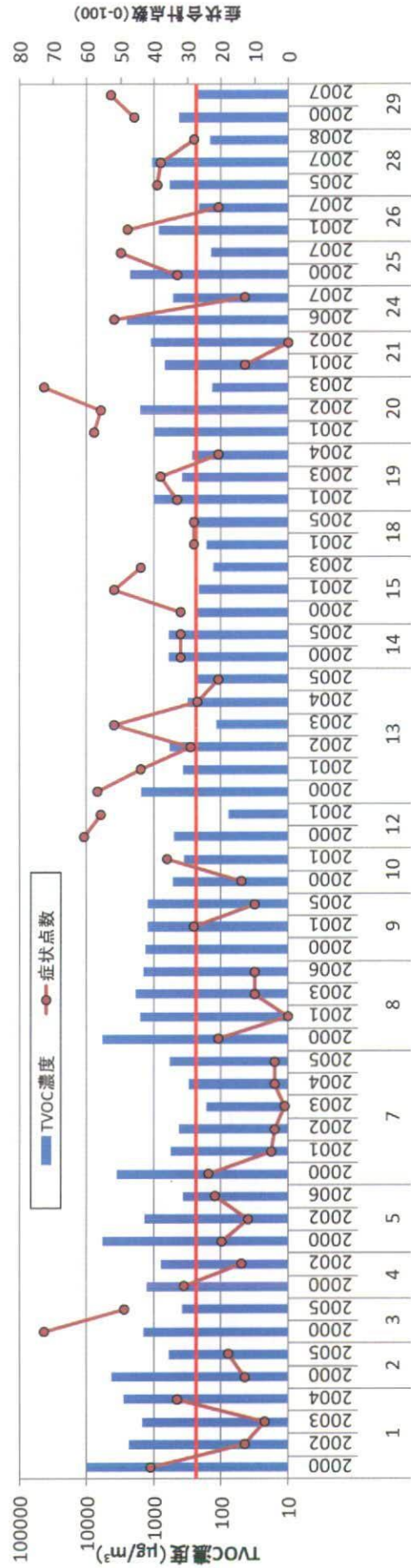


図9 シックハウス22軒におけるTVOC濃度と症状程度の経年変化

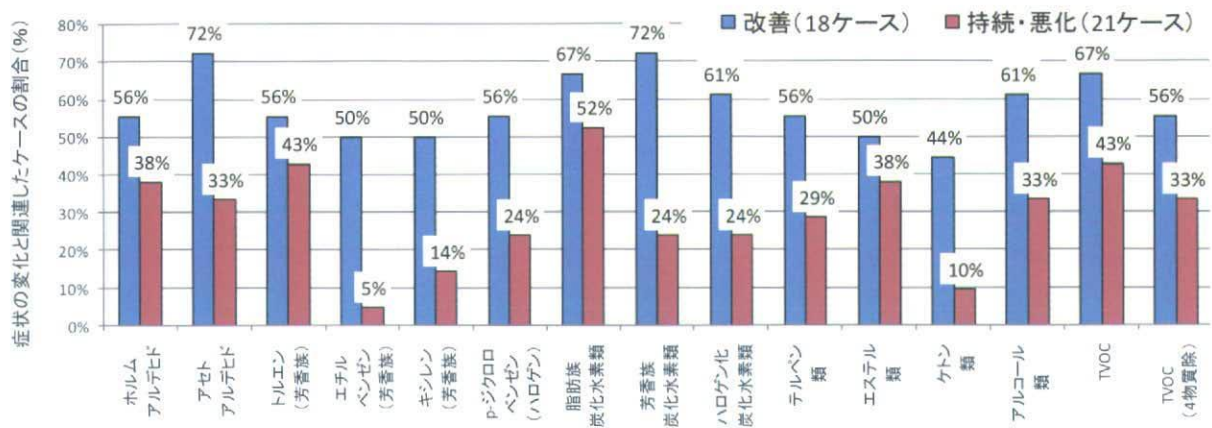


図 10 各化学物質濃度が症状「改善」「持続・悪化」と関連したケースの割合

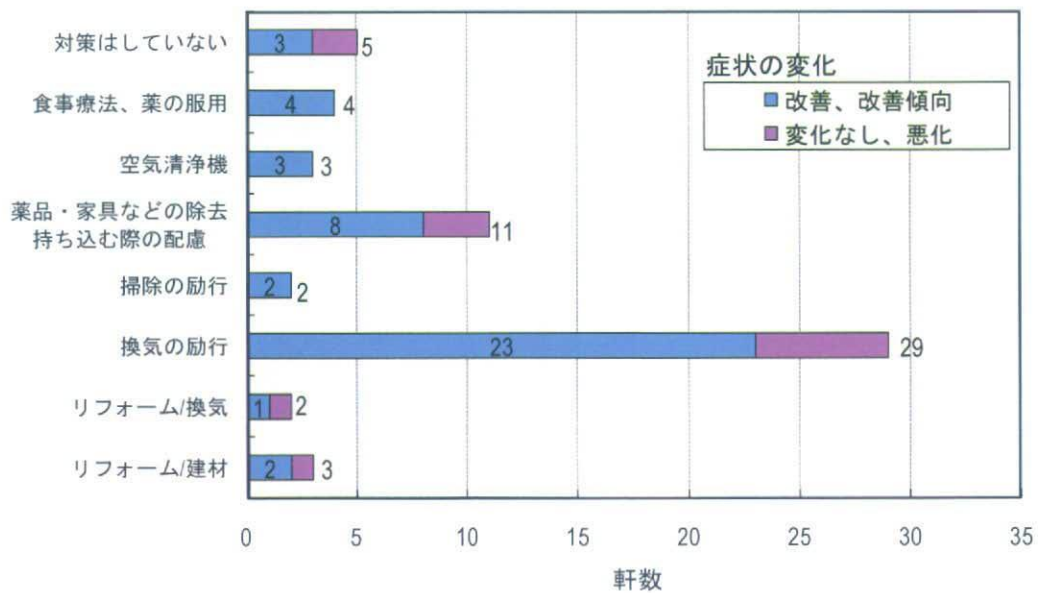


図 11 シックハウス 36 軒における居住者が行った対策

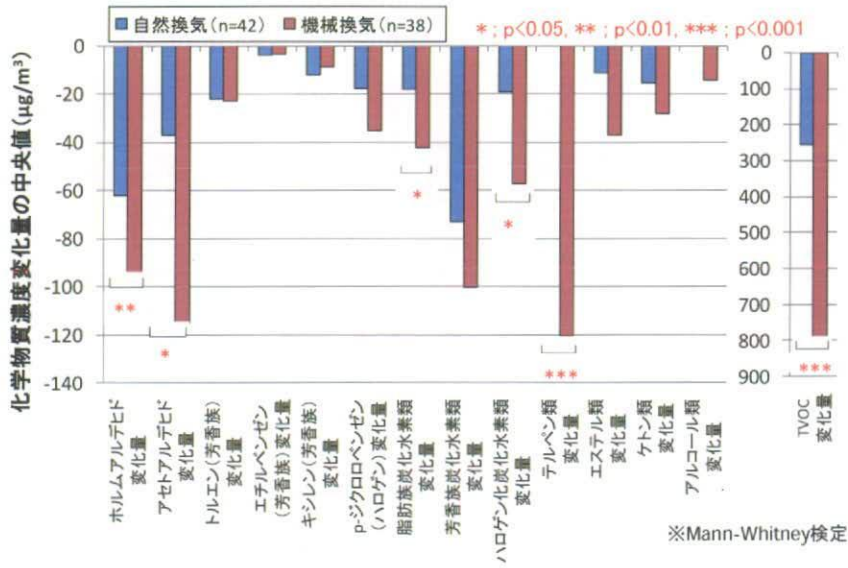


図 12 換気システムの有無による各化学物質濃度変化量の比較

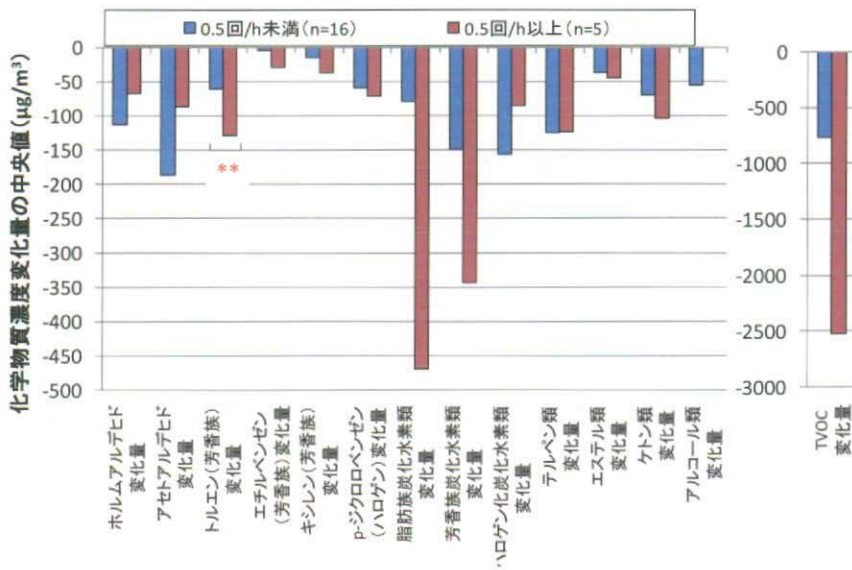


図 13 換気回数による各化学物質濃度変化量の比較

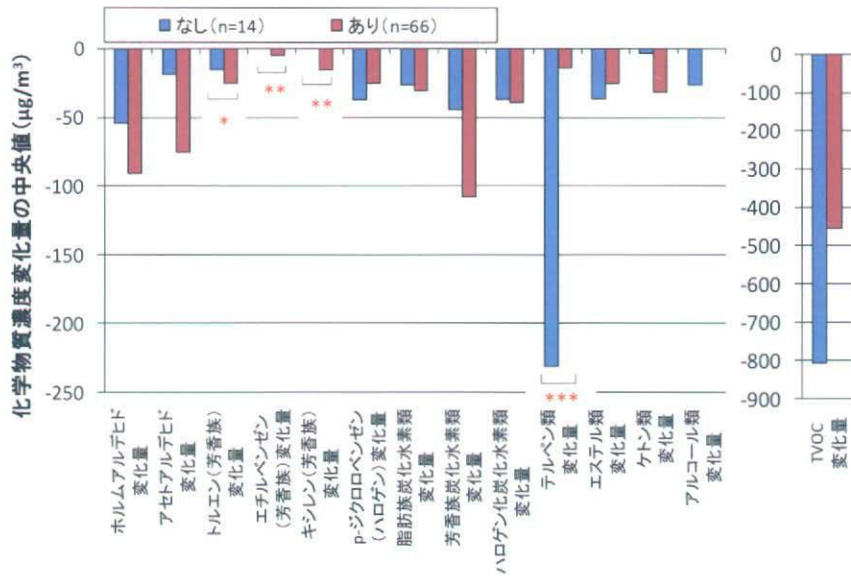


図 14 換気の励行の有無による各化学物質濃度変化量の比較

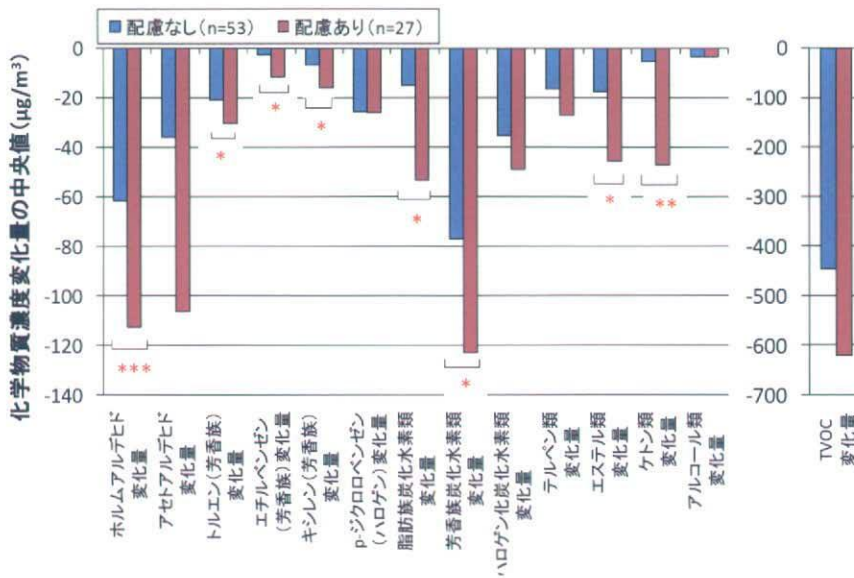


図 15 家具・生活用品等持ち込み品への配慮の有無による各化学物質濃度変化量の比較

---

厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

シックハウス症候群の診断・治療法及び具体的対応方策に関する研究  
平成 20 年度 総括・分担研究報告書

平成 21（2009）年3月発行

編 者 相澤 好治  
発 行 所 北里大学医学部衛生学公衆衛生学  
〒 228 - 8555 神奈川県相模原市北里 1 - 15 - 1  
E-mail : aizawa@kitasato-u.ac.jp  
印刷・製本 ケーエヌ印刷  
〒 173 - 0025 東京都板橋区熊野町 2 - 10 - 1002  
Tel : 03 - 3959 - 2253 Fax : 03 - 3959 - 3085

---